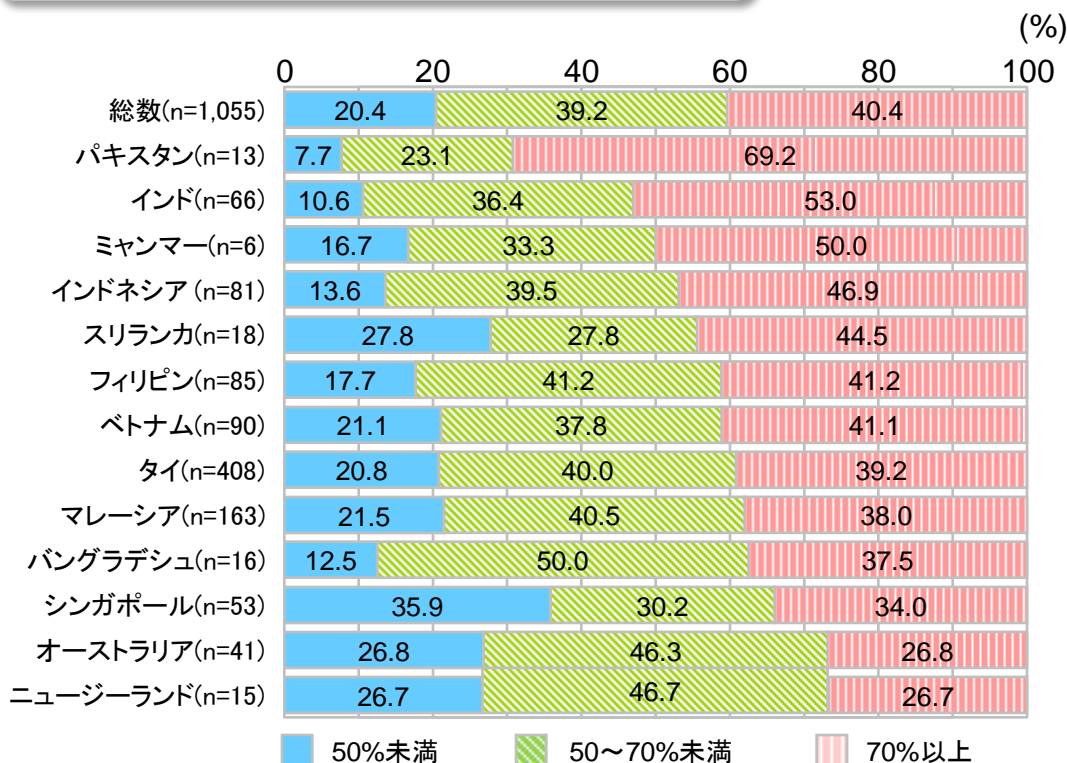


6. 原材料・部品の調達(1)

代表的な製品の、製造原価に占める
原材料・部品など材料費の比率

(注)北東アジア4ヶ国/地域は本設問集計(P27~31)の対象外



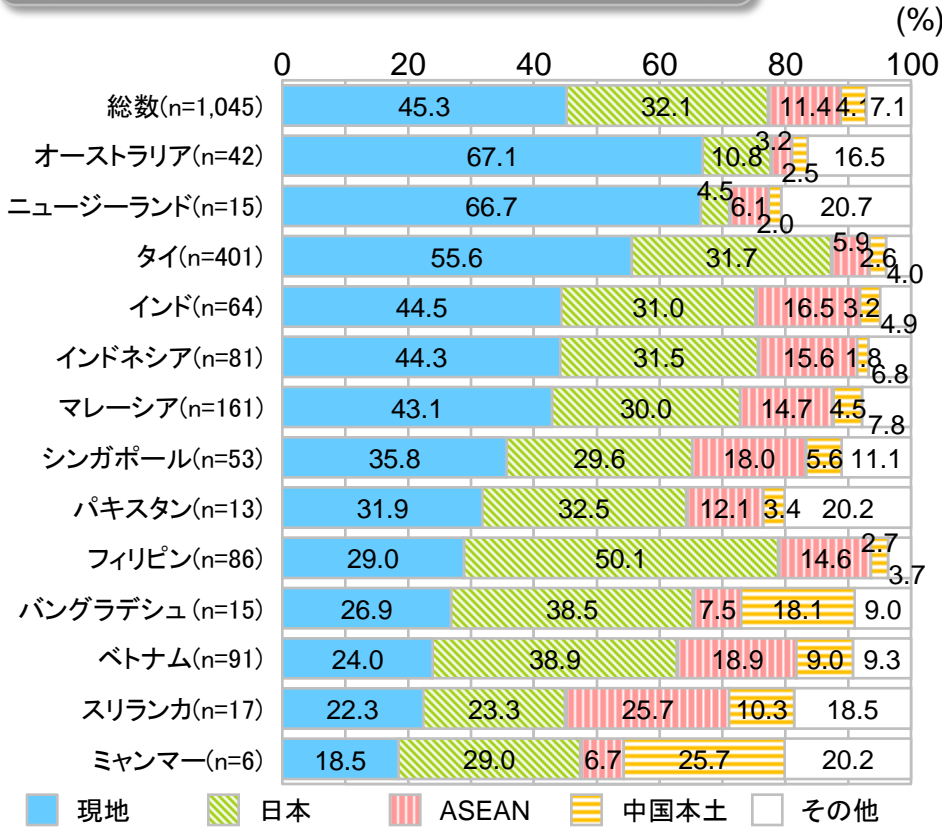
「材料費比率70%以上」とする回答比率の推移
(2008~2009年度調査)

	2008年度 (n=909)	2009年度 (n=1,055)	増減 (ポイント)
総数	43.6	40.4	-3.2
インドネシア	50.5	46.9	-3.6
マレーシア	39.4	38.0	-1.4
ミャンマー	50.0	50.0	0.0
フィリピン	42.4	41.2	-1.2
シンガポール	42.2	34.0	-8.2
タイ	42.3	39.2	-3.1
ベトナム	45.0	41.1	-3.9
バングラデシュ	55.6	37.5	-18.1
インド	46.4	53.0	6.6
パキスタン	61.5	69.2	7.7
スリランカ	40.0	44.5	4.5
オーストラリア	31.3	26.8	-4.5
ニュージーランド	40.0	26.7	-13.3

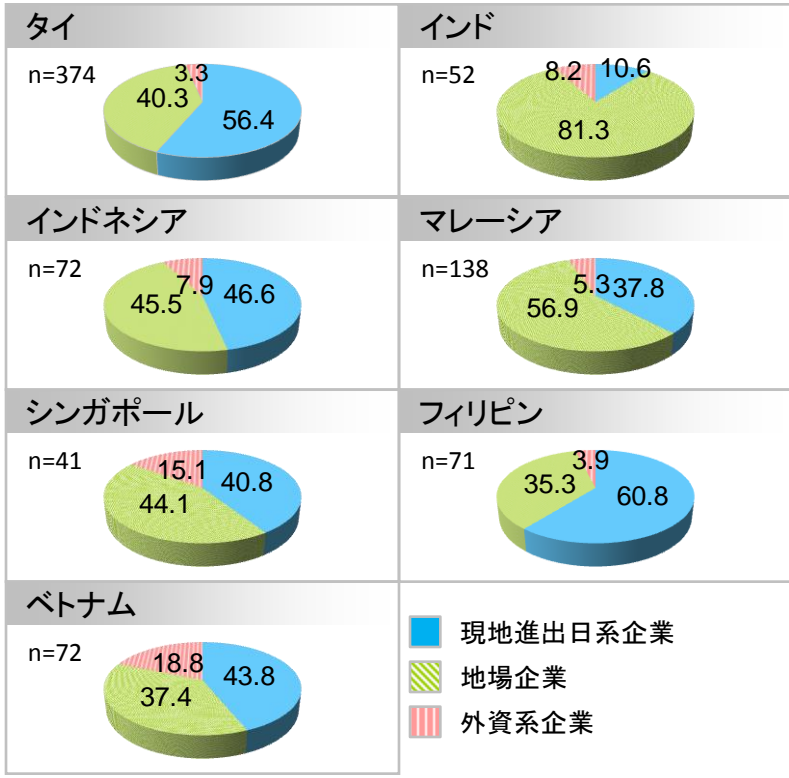
- アジア・オセアニア地域全体では、製造原価に占める材料費の比率を「50%未満」と回答した企業の割合は20.4%、「50%以上」の割合が79.6%となった。依然として、製造原価の5割以上を材料費が占める企業が圧倒的に多い。
- ニュージーランドやオーストラリア、シンガポールなどの域内先進国では、製造原価に占める材料費の比率が相対的に低い傾向が見られる。材料費以外にかかる労務費や管理経費が、他国/地域に比べ高いことが要因。
- パキスタン、インド、ミャンマーでは、材料費の比率が70%を超えると回答した企業の比率が5割を超えた。なかでもパキスタンは、同比率が69.2%となり、昨年度との比較でも大幅な増加となった。対ドルでのパキスタン・ルピー安が、原材料・部品のコストを大きく引上げたことが背景にあるものと考えられる。

6. 原材料・部品の調達(2)

原材料・部品の調達先の内訳
(国別、平均、合計が100%になるよう回答)



現地での調達先の内訳
(主要7カ国、平均、合計が100%になるよう回答)



- オーストラリアおよびニュージーランドは原材料・部品の現地調達率がいずれも70%近く、ASEANや南西アジア地域各国に比べて高い。一方、アジア域内からの調達比率が低く、ASEANや南西アジア地域とは異なるサプライチェーンが形成されている実態がうかがえる。
- ASEANでは、タイ(55.6%)、インドネシア(44.3%)、マレーシア(43.1%)の現地調達率が高く、裾野産業の集積の高さを示した。同3カ国では、現地を含むASEAN域内および日本からの調達比率の合計がいずれも90%前後に達している。
- その他のASEANの国では、フィリピンおよびベトナムの現地調達率が昨年度に続き低い(各々29.0%、24.0%)。両国はいずれも、日本からの調達比率が最も高く、特にフィリピンでは同比率が50%を超えた。
- オセアニアとタイに次いで現地調達率の高いインドは、現地調達に占める地場企業の割合が極めて高い(81.3%)のが特徴。

6. 原材料・部品の調達(3)

今後の原材料・部品調達の方針 (国別、複数回答)

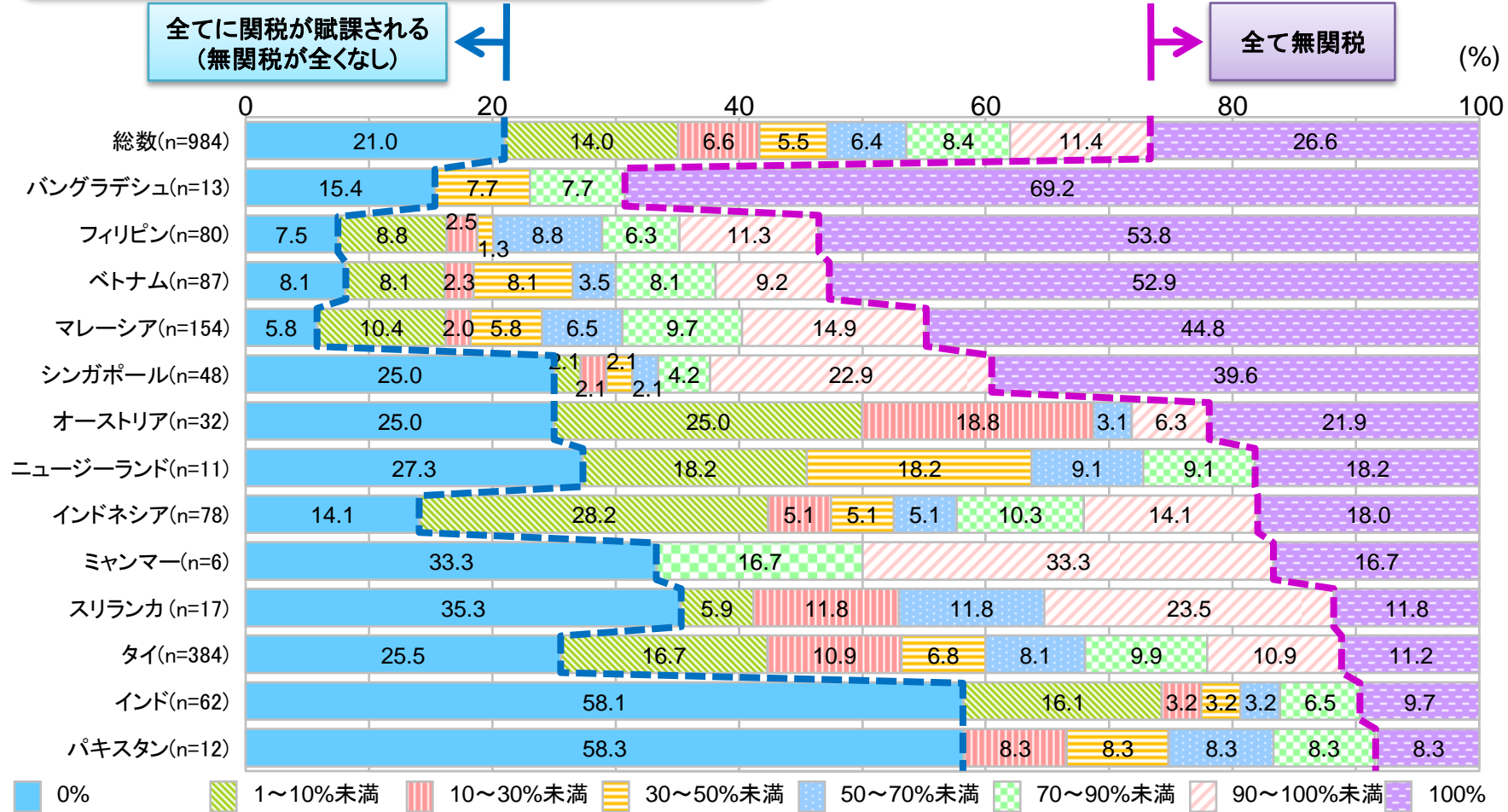
(%)

総数(n=1,046)	ベトナム(n=89)	インド(n=69)	タイ(n=401)	フィリピン(n=86)
現地 56.5	現地 70.8	現地 69.6	現地 65.6	現地 58.1
ASEAN 26.1	ASEAN 39.3	ASEAN 20.3	ASEAN 17.5	ASEAN 43.0
中国 10.4	中国 7.9	中国 7.3	中国 8.0	中国 15.1
日本 1.8	日本 1.1	日本 1.5	日本 2.2	日本 1.2
現状 29.2	現状 20.2	現状 20.3	現状 26.9	現状 23.3
インドネシア(n=79)	マレーシア(n=156)	パキスタン(n=13)	バングラデシュ(n=16)	ミャンマー(n=6)
現地 55.7	現地 55.1	現地 38.5	現地 37.5	現地 33.3
ASEAN 34.2	ASEAN 33.3	ASEAN 7.7	ASEAN 25.0	ASEAN 33.3
中国 10.1	中国 12.2	中国 30.8	中国 6.3	中国 16.7
日本	日本 1.3	日本 7.7	日本 12.5	日本 16.7
現状 26.6	現状 26.9	現状 46.2	現状 37.5	現状 33.3
スリランカ(n=18)	オーストラリア(n=44)	シンガポール(n=54)	ニュージーランド(n=15)	
現地 22.2	現地 20.5	現地 20.4	現地	現地：現地での調達率を引き上げる ASEAN：ASEANからの調達率を引き上げる 中国：中国からの調達率を引き上げる 日本：日本からの調達率を引き上げる 現状：現状の現地調達率を維持する ※「その他」の回答比率は割愛
ASEAN 38.9	ASEAN 9.1	ASEAN 37.0	ASEAN	
中国 22.2	中国 6.8	中国 2.2	中国	
日本	日本 2.3	日本	日本	
現状 38.9	現状 65.9	現状 35.2	現状 86.7	

- 今後の原材料・部品調達の方針については、「現地での調達率を引き上げる」と回答した企業の割合がASEAN全体で59.6%、南西アジア全体で54.3%となり、いずれも最大であった。他方、すでに高い現地調達率を達成しているオセアニアでは「現状の現地調達率を維持する」(71.2%)との回答が最多となった。
- ベトナムでは、「現地での調達率を引き上げる」と回答した企業の割合が、調査対象国の中で最も高く(70.8%)、「現状の現地調達率を維持する」する企業の割合はアジア内で最も低い(20.2%)。現地調達率の引き上げによるコスト削減が喫緊の課題である状況がうかがえる。
- ベトナムに次いで「現地での調達率を引き上げる」と回答した企業の割合が高いのはインド(69.6%)およびタイ(65.6%)で、いずれも65%を超えた。すでに比較的高い現地調達率を達成している両国だが、さらなる現調率の引き上げが志向されていることが分かる。
- バングラデシュでは、「日本からの調達率を引き上げる」(12.5%)と回答した企業の割合が相対的に高い。

6. 原材料・部品の調達(4)

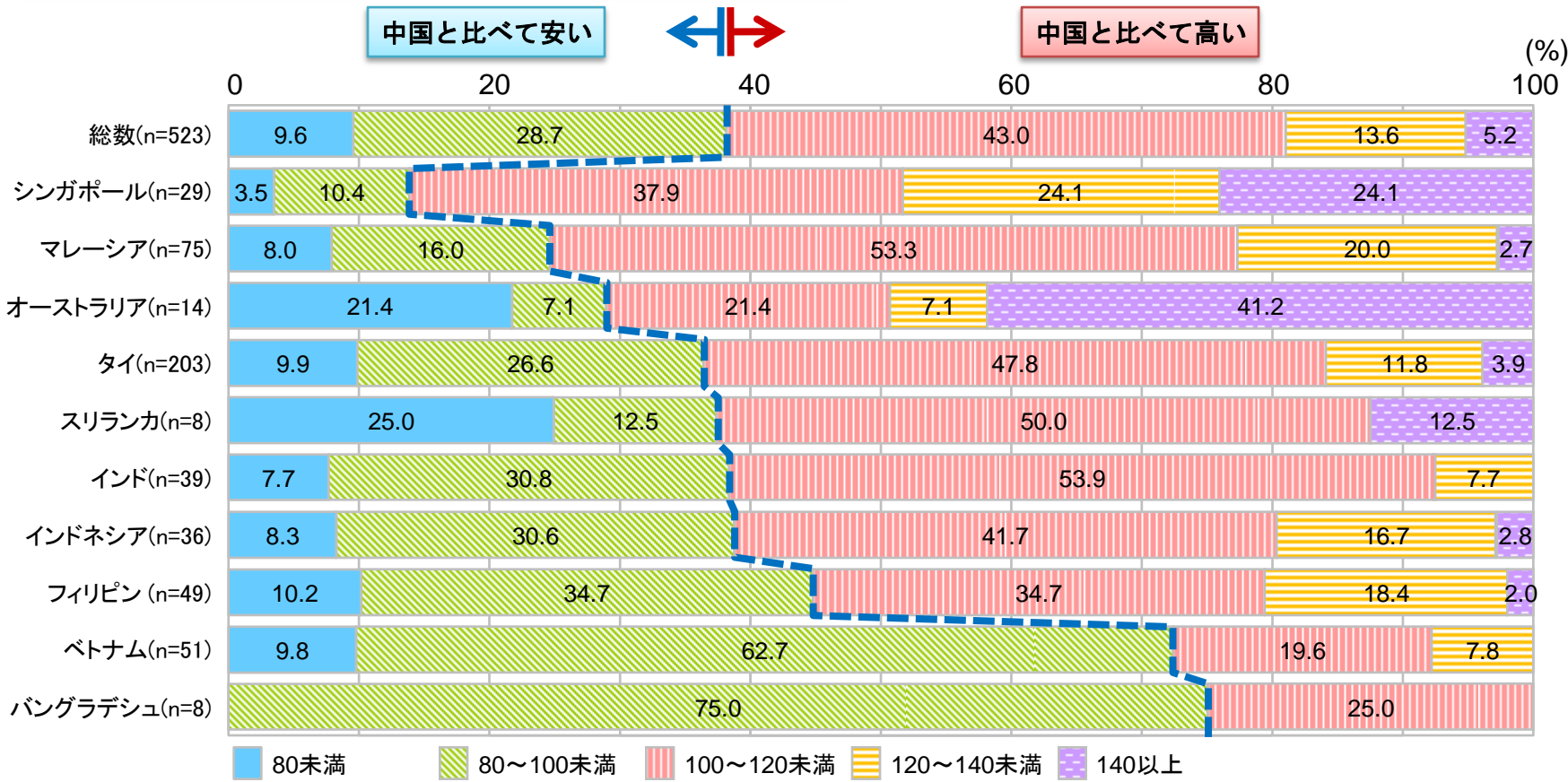
原材料・部品の輸入調達額で0%関税となっている比率
(輸入調達額全体<100%>に対する比率、国別)



- 原材料・部品の輸入調達額に占める無関税の比率が「100%」、すなわち「全ての品目を無関税で輸入している」と回答した企業の割合が高いのは、バングラデシュ(69.2%)、フィリピン(53.8%)、ベトナム(52.9%)であった。
- 他方、インドおよびパキスタンでは、いずれも6割近い企業が「0%」、すなわち「無関税で輸入している品目がない」と回答した。

6. 原材料・部品の調達(5)

代表的な製品について、中国における関連会社での製造原価を100とした場合の、貴国における製造原価



- 中国の関連会社での製造原価を100とした場合、進出先での製造原価が「100以上(=進出先での製造原価の方が中国より高い)」と回答した企業の割合は、シンガポールが86.1%で最も多く、次いでマレーシア(76.0%)となった。
- 一方、「100未満(=進出先での製造原価の方が中国より安い)」とした企業の割合はバングラデシュが最多(75.0%)で、次いでベトナム(72.5%)となった。